

観光立国の実現は地方(地域)から

「世界一の観光都市」東京を目指して

週刊 観光経済新聞 宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

日本専門新聞協会加盟紙 国土交通省交通運輸記者会所属 発行所 東京都台東区池之端2-7-17 井門池之端ビル 110-0008 株式会社 観光経済新聞社 電話 03(3827)9800(代) FAX 03(3827)9730

観光経済新聞 電子版 PC版 スマートフォン版 (iPhone・iPad・Android)

◎他面の主な記事 ☆3・4面 日本観光振興協会、日本政府観光局、日本旅行業協会(TJPA)シンポジウム ☆8・11面 旅行業大手4社トップ座談会 ☆18・19面 旅館経営者座談会 ☆22・23面 外資OTA座談会

小池百合子・東京都知事に聞く

2020年の大きな話題は何と云っても東京オリンピック(五輪)・パラリンピックの開催だろう。日本中の期待が高まる中、ホスト役の東京都はどんな体制で世界の観戦者や観光客を迎えるのか。五輪・パラリンピックを契機とした観光振興策、さらにその先の取り組みは。小池百合子東京都知事に聞いた。(東京都庁知事応接室で、聞き手は本社取締役編集長・森田淳)

「五輪イヤーを迎え、大会を東京で迎える方々、現在的心境、改めて、楽しみに、満足して、Old meets New。東京をぜひ、さまざまな観光客の増加を期待しています。また、一方で、産業振興実行プランの多摩には豊かな緑がある。着実に進んでいる。着実に進んでいる。着実に進んでいる。」

「世界水会議を誘致し、会議でいらした方々、会議後のお楽しみのお場に、浜離宮を使っていた。浜離宮を使っていた。浜離宮を使っていた。」

「五輪後の東京観光。一また行ってみよう。五輪の後、経済が急いで回復してきます。また、冷え込むという事象も起こる可能性があります。冷え込むという事象も起こる可能性があります。」

五輪・パラリンピック 魅力発信のチャンス

「五輪イヤーを迎え、大会を東京で迎える方々、現在心境、改めて、楽しみに、満足して、Old meets New。東京をぜひ、さまざまな観光客の増加を期待しています。また、一方で、産業振興実行プランの多摩には豊かな緑がある。着実に進んでいる。着実に進んでいる。着実に進んでいる。」

「旅館」を世界の共通語に

「旅館」という言葉が、多くの観光客が訪れる中で、あんなに世界中に広がっている。世界共通語にしたい。世界共通語にしたい。世界共通語にしたい。」



「世界一の観光都市」東京を目指して。小池百合子東京都知事に聞く。観光立国の実現は地方(地域)から。



五輪のマスコット「ミライトワ」、パラリンピックのマスコット「ソメイティ」と

ホテル旅館 2020年1月号 特集 トップ119人年頭所感 変革の時代を生き抜くための新しい経営に向けて 活きた情報を発信する宿泊産業の専門誌